

2 始良・伊佐会場の報告

- (1) 日 時
平成29年9月13日（水） 13：00～16：30
- (2) 会 場
霧島市隼人農村環境改善センター
- (3) 参加者
147人
- (4) 研修内容
 - ア 県の読書活動推進概要説明
 - イ 講演
講師 鹿児島大学学術研究院法文教育学域教育学系准教授 原田 義則 氏
演題 「自ら本に手を伸ばす子どもを育てるために」
 - ウ 実践事例発表
 - (ア) 家庭：霧島市立青葉小学校図書館
 - (イ) 地域：伊佐市図書館ボランティアぎんなん
 - (ウ) 学校：始良市立錦江小学校
 - エ 質疑応答及び意見交換
 - オ ワークショップ
 - (ア) 読み聞かせ
(講師：県立図書館ボランティアグループさざなみ代表 鳥羽 啓子さん)
 - (イ) わらべ歌・ストーリーテリング
(講師：りんごの木おはなし会代表 福迫 三枝子さん)
 - (ウ) ビブリオバトル (講師：始良市立中央図書館奉仕係長 中島 信子さん)

【研修会の様子】



原田義則准教授の参加者と
一体となった講演



ぎんなんの実践事例：郷土
の民話を伝承する紙芝居



活発な意見交換が行われた
質疑応答及び意見交換



ワークショップ
「読み聞かせ」



ワークショップ
「わらべ歌・ストーリーテリング」



ワークショップ
「ビブリオバトル」

(5) 総括

始良・伊佐地区だけでなく、離島を除く全ての地区からの参加があり、読書指導への関心の高まりが感じられた。県図協始良伊佐支部の御協力、始良・伊佐教育事務所の地区校長研修会での呼び掛けのおかげもあり、参加者の確保から会場の事前準備、当日の運営に至るまでスムーズに行うことができた。

原田准教授の演習を交えた講演や後半のワークショップなど、参加者が積極的に活動することができる内容だったことから、参加者からも「講義と実技のバランスが取れている」という評価をいただいた。

今後の課題として、多様化する参加者のニーズへの対応が挙げられる。参加・体験型のワークショップでありながら、運営する際の留意点についても学べるものになるよう、講師等との事前の打合せを綿密に行う必要がある。